

2016.  
11  
Vol. 18

朝鮮高校無償化ネット愛知

# トトリ通信

トトリ  
～かわら版～

2016年11月7日、秋晴れで少し肌寒い天気の中、愛知朝鮮高校無償化裁判の第20回口頭弁論が行われました。約150名の方々が傍聴に駆けつけてくださいました。ありがとうございます。



## ◆ 口頭弁論について

前回及び前々回、私たち原告側は朝鮮高校無償化除外問題に内在する教育法学的論点について、成嶋隆氏（獨協大学教授・日本教育法学会長）の意見書とそれに基づく準備書面を提出しました。今回は、被告側である日本国政府からこれらに対する反論が提出されるはずでした。ところが、被告側の準備が間に合わず、反論は次回に見送りとなりました。

そのため、口頭弁論は非常に短時間で終わりました。

また、今回より裁判長が交代となりました。この裁判の初期に行われた原告各々の主張を聞いていない裁判長に、在日朝鮮人の子どもたちにとって朝鮮学校がどのような意義を持つのかという点を、いかにして伝えるかが今後の課題の1つとなります。



## ◆ 報告集会と今後の裁判

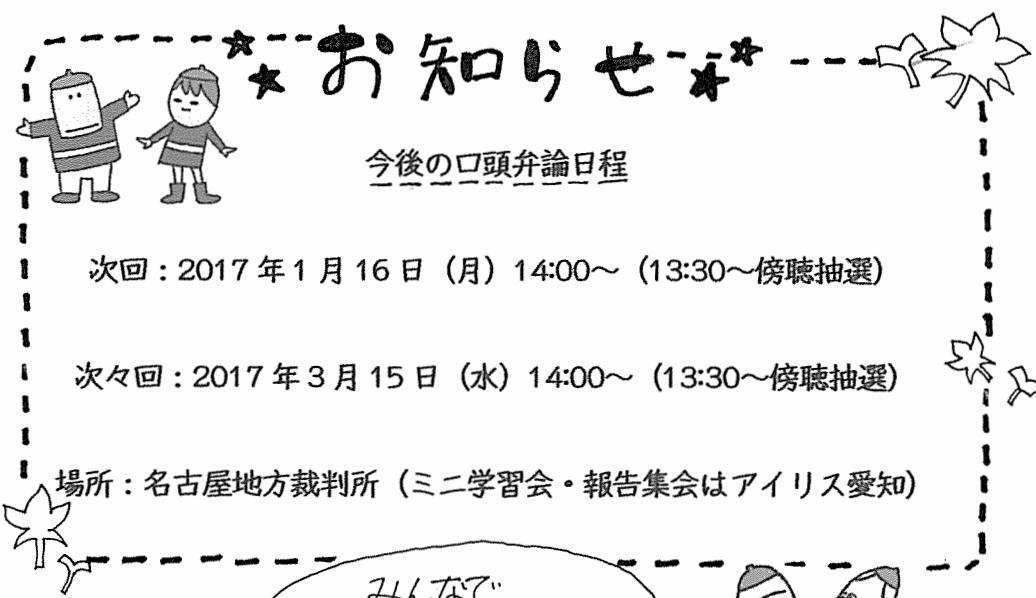
報告集会では、上記口頭弁論の内容の説明がなされるとともに、今後の裁判の見通しが示されました。次回、第21回口頭弁論では被告である日本国政府から反論が

ひとりひとり  
が手をとりあつて…

なされます。そして、次々回、第22回口頭弁論で原告側が再反論を行い、被告からの再反論がなければ立証（証拠調べ）の段階に入ります。証人尋問も行われることになります。同時に、裁判官の裁量により、被告側に有利となるような進行がなされる可能性もあり、今まで以上に気を引き締めて裁判に臨む必要があることが指摘されました。

また、愛知朝鮮中高級学校の高校3年生の生徒たちが駆けつけ、校歌とショートムービーを披露してくれました。その中では、無償化除外問題を後輩たちに引き継がなければならない悔しさも語られました。

いつもの会場ではなく、KKRホテルでのイレギュラー開催となつた報告集会でしたが、20回目の節目ということもあり、ずっと支援をしてくださっている皆様、初めて傍聴にいらした皆様、様々な方が参加してくださいました。



作成：ウスム  
USM～웃음～  
ウリハッキョサポートネットワーカーズ